

7月15日朝の勉強会 テーマ「外傷」

担当先生

20歳代 男性

受傷機転：バイクで交差点を直進中、対向の右折車と衝突した

受傷部位：鼻出血、左前胸部挫創、両手関節痛あり

バイタルサイン：JCS2、HR 109/min、BP 104/59mmHg、
RR 20/min、SpO2 95%(RA)

行った処置：頸椎カラー装着 バックボード固定 O2 4L投与



Secondary Survey

頭部：左前頭部に擦過傷あり（圧痛なし）

顔面：左Black eyeあり、鼻腔に凝血塊付着、開口障害なし

胸部：左前胸部に挫創あり（圧痛なし）

腹部：右下腹部に圧痛あり

骨盤部：左鼠径部に皮下血種あり

下肢：明らかな創や圧痛点なし

上肢：右手関節に圧痛あり（変形腫脹なし）

左手関節に疼痛あり、変形あり

背部：明らかな創や圧痛点なし

改めて診察

複視あり、眼球運動障害あり、
眼球陥没なし、視力障害なし

陰嚢尾側正中付近に血種あり、
右陰嚢に疼痛あり

診断

左手関節脱臼骨折

右精巣損傷

左眼科底骨折、鼻骨骨折

→

当日：整形外科、泌尿器科 緊急手術

観血的整復固定術、精巣損傷修復術

2週後：形成外科 整復固定術

Take home message

受傷起点を意識して診察をおこなう

骨盤部には骨折以外にも緊急性の高い病態があることを意識し、外傷患者の診察を行う必要がある。

Secondary Surveyでは、すべての孔を観察する。